

プロフェッショナル部門

1996 年～2014 年に出生した者

* 課題曲選択にあたり、別紙の【課題曲に関する重要注意事項】を必ず読むこと。

* 各大会の申込時、課題曲を登録する際に課題曲コード（アルファベット 1 文字＋数字 3 ケタ）が必要です。課題曲コードは別紙「ショパンの作品一覧」にてご確認ください。

	課題曲 A	課題曲 B
1 次審査 A→B の順で演奏	ショパン： 下記の練習曲 5 曲より任意の 1 曲 Op.10-1、Op.10-2 Op.25-6、Op.25-10、Op.25-11	ショパン：下記の 11 曲より任意の 2 曲 *ただし (1) と (2) より 1 曲ずつ選択すること *それぞれの演奏順は問わない（ただし、申込時に演奏する順で登録すること） (1) バラード・スケルツォ Op.23、Op.38、Op.47、Op.52 Op.20、Op.31、Op.39、Op.54 (2) 幻想曲 Op.49、舟歌 Op.60、 幻想ポロネーズ Op.61
2 次審査 A→B の順で演奏	ショパン：下記のマズルカより 任意の 1 作品（Op.）全曲 Op.17、Op.24、Op.30、Op.33 Op.41、Op.50、Op.56、Op.59 * 各マズルカは、作品番号（Op.）内の曲順通りに演奏すること。ただし Op.33 と Op.41 に関しては以下の順番で演奏すること。 <Op.33> 嬰ト短調 →ハ長調 →ニ長調 →ロ短調 <Op.41> ホ短調 →ロ長調 →変イ長調 →嬰ハ短調 * 申込サイトで課題曲コードを入力する際は、選択する作品の「Op.●-1」の課題曲コードを入力すること。 例) Op.17 を選択する場合は、Op.17-1 の課題曲コード「C037」を入力する	ショパン：下記のソナタより任意の 1 曲（全楽章） Op.35、Op.58 * 両ソナタとも、第 1 楽章の提示部は繰り返しをしてはいけない
最終審査	ショパン：下記のコンチェルト 2 曲より任意の 1 曲（弦楽四重奏伴奏を予定） ピアノ協奏曲第 1 番 Op.11 全楽章 * 第 1 楽章・第 2 楽章では、伴奏は必ず指定のカットを行うこと（課題曲に関する注意事項を参照） ピアノ協奏曲第 2 番 Op.21 全楽章 * 第 1 楽章では、伴奏は必ず指定のカットを行うこと（課題曲に関する注意事項を参照）	